

深化 を意図した道徳の時間

主題名 「集団の高まりを目指して」

内容項目 4－(4) 集団生活の向上

第1学年 A組 27名 指導者 奈良 達也

1 **ねらい** 自分が属するさまざまな集団の意義についての理解を深め、役割と責任を自覚して集団生活の向上に努めようとする態度を育てる。

2 **資料名** むかで競走 (日本文教出版 あすを生きる①)

3 主題設定の理由《指導観》

(1) ねらいとする道徳的価値について《価値観》

人はその生活の舞台に応じて様々な集団に所属し、日々の生活を営んでいく。人が集団の一員としてよりよく生きるためには所属する集団の意義を理解し、それぞれがその一員としての役割と責任を自覚し、集団の目的を達成するために力を合わせる大切である。中学生の時期は、学校、学級、部活動などの集団の中で互いに深くかかわりあって相互理解を深め、集団の中で人間的な成長を遂げていく時期である。また、学校行事など、集団に所属していることの喜びを感じられる機会も多い。しかし、人間的に未成熟であるがゆえに、個性の違いを受け入れられなかったり、自分の思いを優先させてしまったりということが多く見られるのもこの時期の特徴である。一人一人が自らの役割と責任を果たそうとする自覚をもち、規律を守り、協力し合う態度を育てることが、今の集団生活を向上させるだけでなく、一人一人が将来に所属するであろう集団の中でよりよく生きていくことにつながるはずである。

(2) 生徒の実態《生徒観》

自身が所属する集団の意義について理解を深め、役割と責任を自覚し集団生活の向上に努めようとする態度を育てるため、以下のような指導を行ってきた。

① 道徳の時間における指導

1学期に内容項目 4-(4)「できること、できないこと、そして接し方」で、学級の一員である障がいをもった A 子との接し方について考えることを通して、集団で生活していく上で大切なことは何か考える機会をもつことができた。しかし、資料から学んだ価値を自分とのかかわりでとらえることができた生徒は少なかった。

② 各教科等での指導

ア 教科指導

理科での実験や音楽の合唱、技術家庭科の実習などグループ活動を行う教科は少なくない。また、体育では球技の実践を通して目標を共にする仲間と活動を行う中で、チームとしてのまとまりや団結の必要性を指導してきた。リーダー性をもつ生徒が引っ張っていくことでうまくいく面もあるが、すべての生徒に集団の中に自分の役割があり、責任感をもって活動することの大切さを自覚させていくことも必要である。

イ 特別活動

学級活動の時間には話し合い活動を通して学級としての意見をまとめたり、係の活動について反省し今後の活動方針を決めたりするなど、一人一人が所属する集団での役割をもつケースが非常に多い。学校行事においては、生徒会交流会や体育大会で学級単位の対抗戦

を経験した。学級としての一体感を味わったことが大きな経験となっている。また、学級集団で団結し上級生を相手に勝利を目指して協力し合ったことは、本時の資料と重なる部分が多い。資料で学んだ価値を自分とのかかわりでとらえさせる際、有効に活用していきたい。

③ 日常での指導

清掃や給食当番など少人数での班活動は毎日の中に存在し、協力し合って生活している。自分の仕事が終わったら仲間の手伝いをするようにという指導を繰り返しているが、積極的に手伝おうという生徒は少なく、その面において未成熟であると考えられる。

以上のような指導を通して、集団生活を向上させることへの意欲は高まりつつあるが、まだ十分とは言えない。そこで、所属する一人一人が役割と責任を自覚した行動をすることが大切であることに気付かせ、さらに集団生活の向上に努めようとする態度を育てていきたい。また、今所属している集団に限らず、将来、自身が様々な集団の一員として活動していくことにも意識を向けさせていきたい。

本時の授業は「深化」を意図して行う。生徒たちは日々の学校生活や行事の中で、常に学級や部活動という集団で生活をしているため、集団の意義やその向上について考える機会をもっている。本時の学習を通して集団生活を向上させるためには一人一人が役割と責任を自覚することが大切であることを学ばせるとともに、集団生活を向上させようとする態度を育てたい。

(3) 資料について《資料観》

本資料では、学級のリーダーである拓也が特訓に励む一宏の姿を目撃したことで心情を変化させ、学級の輪が広がる様子が描かれている。

拓也の心情の変化に着目するとともに、その原因となった、学級のメンバーの様子を読み取らせることで、集団における役割と責任の大切さを生徒に意識させ、集団生活の向上に努めようとする態度を育てたい。

4 深化を意図し、ねらいとする道徳的価値の自覚を深めるための指導の工夫

(1) 道徳的価値について理解するために

- ・ 授業冒頭で私たちの道徳を利用し、本時に学ぼうとする価値への方向付けを行う。
- ・ 盛り上がらない練習に意欲をなくしかけた拓也の姿を想像させ、共感的理解を得ることで人間の弱さにも目を向けさせ、人間理解につなげる。
- ・ 中心発問では学級のリーダーである拓也の気持ちの変化に着目させ、役割と責任について考える機会にし、価値理解につなげる。
- ・ グループでの話し合い活動を通して、それまで気付かなかった仲間の意見を知り、他者理解につなげる。

(2) 自分とのかかわりで道徳的価値をとらえるために

- ・ 資料における学級の様子や登場人物の心情の変化から学んだ道徳的価値をもとに、授業の終末で今までの自分について問うことで、自分の行為や経験に目を向けさせる。
- ・ 導入で過去に行われた学級対抗の行事を想起させることで振り返りやすくするとともに、自身が所属する集団は学級だけではないことをヒントとして伝える。

(3) 道徳的価値にかかわる課題を培い、人間としての生き方についての自覚を深めるために

- ・ 「私たちの道徳」を利用して、将来様々な集団に所属し、生活を送っていくことに意識を向けさせる。今、集団に貢献できる資質を高めていくことが、将来所属していくであろう集団の生活を向上させ、自分の人生をよりよいものにしていくことに気付かせる。

5 本時の展開

過程	学習活動と発問「 」(◎は中心発問) ・予想される生徒の反応	指導上の留意点(○) 及び評価の観点(☆)
導入 (3分)	1 私たちの道徳 p166 の文章を読み、今から学ぶ道徳的価値についての方向付けを行う 今年の生徒会スローガンや体育大会、文化祭の思い出を振り返る	○本時の授業が集団生活の向上をねらいとしたものであることに気付かせる ○1学期に勉強した道徳の時間の内容に一言ふれる
展開 (37分)	2 資料を読んで話し合う ＜価値理解＞＜人間理解＞＜他者理解＞ ◎(1)「日曜日、練習する三人の姿を見てその場からしばらく動けなかった拓也は、どのようなことを考えていたのだろう」 ・一宏に申し訳ない ・リーダーは自分なのにやる気をなくしていたことへの怒り ・一宏の本当の気持ちを知り、自分もやらなくてはいという気持ち (2)「準優勝を果たした 3-A の MVP は誰だろう」 ・一宏（運動が苦手なのに頑張ったから） ・拓也（リーダーの責任を果たしたから） ・広志と勇樹（秘密の特訓を手伝ったから）	○資料を読む前に簡単に 3 人の主要登場人物について紹介する ○拓也の気持ちの変化を確認する ・実行委員になって ・一宏が休んだ日に剛が「当日も休んでくれないかな」と言うのを聞いて ・遅刻したことを剛に責められて ○まず個人で考える時間を取り、ワークシートに記入する。その後 3、4 人のグループで意見交流する ○自分の意見や意見交流の中で出された考えをもとに発表する ○生徒から出された意見を板書し、似たものをグループに分類する ○MVP を考えることで、一人一人に役割と責任があったことに気付かせる
	3 私たちの道徳 p167 の文章を読み、集団生活の向上には何が必要か、改めて考える	○オーケストラを例にとり集団生活の向上には一人一人が役割と責任を自覚し行動することが不可欠であることを強調する
終末 (10分)	4 自分の生活を振り返る＜自己理解＞ (3)「所属している集団を高めるために、自分の役割をどのように果たしていますか(果たそうと思いますか)」 ・クラス——給食係として、台ふきを丁寧にやることを心がけたいと思う ・部活——練習を盛り上げるために大きな声を出している 5 本時の感想を書き、振り返る	○学級だけでなく、その他の集団についても考えさせる ○役割の欄には役職名を書くのではなく、「○○している」「○○を頑張ろうと思う」などと文章で表記させる ○生徒の記入中に机間支援をする ☆自分の果たす役割や責任に気付き、所属する集団の向上に努めようとする気持ちをもつことができたか

6 板書計画

第二十三回
むかで競走

拓也の気持ち

実行委員になって
やる気に満ちている
今年こそは優勝したい

一宏が休んだ日に剛が「当日も休んでくれないかな」と言うのを聞いて
困った問題だ
確かに休んでくれば：

遅刻したことを剛に責められて
僕だって一生懸命やっているのに
もうこれじゃうまくいかない

拓也とは仲良し

一宏
頑張りたいけど、運動が苦手

剛
拓也は仲良し

日曜日、一宏たちが練習する姿を見てその場からしばらく動けなかった拓也は、どんなことを考えていたのだろう

やる気

後悔

怒り

リーダーとしての役割に気付いた

一人一人の役割

準優勝を果たした3・AのMVPは誰だろう

・一宏（運動が苦手なのに頑張った）
・拓也（リーダーの責任を果たした）
・広志と勇樹（秘密の特訓を手伝った）

所属している集団を高めるために、自分の役割をどのように果たしていますか

7 ワークシート

道徳シート 第23回

むかで競走

氏名

1. 日曜日、一宏たちが練習する姿を見てその場からしばらく動けなかった拓也は、どんなことを考えていたのだろう。

2.

誰？	理由
----	----

3.

集団のなまえ	自分の役割をどのように果たしているか
学級(1年A組)	

4.

*道徳の時間を振り返ってみよう。

A 意欲的にできた	B できた	C あまりできなかった	D できなかった
1 資料について、興味を持って読みましたか	A	B	C D
2 自分の考えを伝えることができましたか	A	B	C D
3 友だちの考えを聴くことができましたか	A	B	C D
4 授業の内容について深く考えることができましたか	A	B	C D